

トクヤマの理念体系

トクヤマの価値創造は、存在意義、ありたい姿、価値観からなる理念体系に基づいて展開しています。

中期経営計画2030では、ビジネスの起点を顧客に置く考え方をより鮮明にし、「顧客起点のマーケティングから始める価値創造型企業」をありたい姿として掲げました。

コーポレートスローガン

“もっと未来の人のために”

Mission

経営理念

存在意義

化学を礎に、環境と調和した
幸せな未来を顧客と共に創造する

Vision

経営方針

ありたい姿

- 顧客起点のマーケティングから始める価値創造型企業 UPDATE
- 独自の強みを磨き、活かし、新領域に挑み続ける企業
- 社員と家族が健康で自分の仕事と会社に誇りを持てる企業
- 世界中の地域・社会の人々との繋がりを大切にする企業

Values

行動指針

価値観

- 顧客満足が利益の源泉
- 目線はより広くより高く
- 前任を超える人材たれ
- 誠実、根気、遊び心。そして勇気

目次

イントロダクション

トクヤマの理念体系	1
価値創造の歩み	3
トクヤマの全体像	5

Section 1 トクヤマの価値創造ストーリー

社長メッセージ	6
中期経営計画2025の振り返り	11
価値創造プロセス	13
マテリアリティ	15
経営環境認識	17
中期経営計画2030	18
財務担当役員メッセージ	21

Section 2 事業ポートフォリオ変革に向けた戦略

事業全体像	24
事業別戦略の進捗	26
研究開発戦略	31
人的資本の拡充	33
モノづくり	35
DX・AI戦略	37

Section 3 事業ポートフォリオ変革の基盤

サステナビリティ担当役員メッセージ	39
中期経営計画2025におけるマテリアリティの2025年度実績	41
気候変動への対応	43
自然資本・生物多様性	45
ステークホルダーエンゲージメント	47
人権の尊重	48
役員鼎談	49
役員紹介	53
コーポレート・ガバナンス	55
リスクマネジメント	59
情報セキュリティ	61
コンプライアンス	62

Section 4 コーポレートデータ

財務・非財務ハイライト	63
会社情報	67
トクヤマレポートについて	68

価値創造の歩み

トクヤマの価値創造

- ・ソーダ灰の国産化により、わが国の産業振興に貢献
- ・ソーダ事業の基礎を確立

- ▶ **1918年** 日本曹達工業株式会社（現 株式会社トクヤマ）設立
山口県徳山町（現 周南市）にソーダ灰工場建設



1919年頃の当社全景

- ▶ **1924年** 苛性ソーダ初出荷（アンモニア・ソーダ法）

- ▶ **1927年** ソーダ灰初出荷

- ▶ **1938年** 中央発電所完成

- ▶ **1938年** セメント工場完成、製造開始

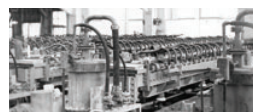


セメント徳山工場

- ▶ **1940年** 塩化カルシウム製造開始

- ・社会の要請に応じ、設備増強や製法転換を実施
- ・事業の多角化を進め、総合化学メーカーに飛躍

- ▶ **1952年** 電解法による高品質な苛性ソーダの製造開始



当時の電解槽

- ▶ **1960年** 南陽工場建設
大型キルンによるセメント製造開始



南陽1号キルン（マンモスキルン）

- ▶ **1964年** 石油化学事業進出

- ▶ **1966年** 塩化ビニル事業進出



当時の塩ビ製造プラント

- ▶ **1967年** イオン交換膜事業進出、石化事業拡大に向け東工場開設

- ▶ **1972年** 直接水合法によるイソプロピルアルコール製造開始

- ▶ **1975年** 隔膜法による苛性ソーダの製造開始

- ・スペシャリティ・加工型などの新規事業拡大
- ・海外拠点拡充によるグローバル企業としての基盤整備

- ▶ **1978年** 歯科器材事業進出

- ▶ **1982年** ファインケミカル事業進出

- ▶ **1983年** 診断システム事業進出

- ▶ **1984年** 高純度多結晶シリコン事業進出

- ▶ **1985年** 高純度窒化アルミニウム事業進出

- ▶ **1985年** ファインケミカルの製造拠点として鹿島工場開設



鹿島工場

- ▶ **1989年** スペシャリティ事業の開発拠点としてつくば研究所開設



つくば研究所

- ▶ **1989年** トクヤマアメリカ設立、トクヤマヨーロッパ設立

- ▶ **1996年** 高純度IPAなどの製造販売拠点として、現トクヤマシンガポール、台湾徳亜瑪設立

- ・電子・健康・環境分野で新しい価値を提供
- ・価値創造型企業への変革を目指す

- ▶ **2001年** 歯科器材事業を分社化し、トクヤマデンタル設立

- ▶ **2004年** イオン交換膜事業を分社化し、アストムに統合

- ▶ **2005年** 乾式シリカの世界的需要増に対応し、徳山化工（浙江）設立



徳山化工（浙江）

- ▶ **2011年** トクヤマ・チヨダジブサム（廃石膏ボードリサイクル事業）設立

- ▶ **2020年** 高純度IPAのニーズに即応するため台塑徳山精密化学（FTAC）設立



台塑徳山精密化学（FTAC）

- ▶ **2021年** エイアンドティー（医療診断システム事業）完全子会社化
山口県柳井市に先進技術事業化センター開設

- ▶ **2022年** 韓国にSTAC（高純度IPAの製造販売）設立

- ▶ **2024年** つくば第二研究所開設
トクヤマベトナム（高純度多結晶シリコンの製造販売）設立

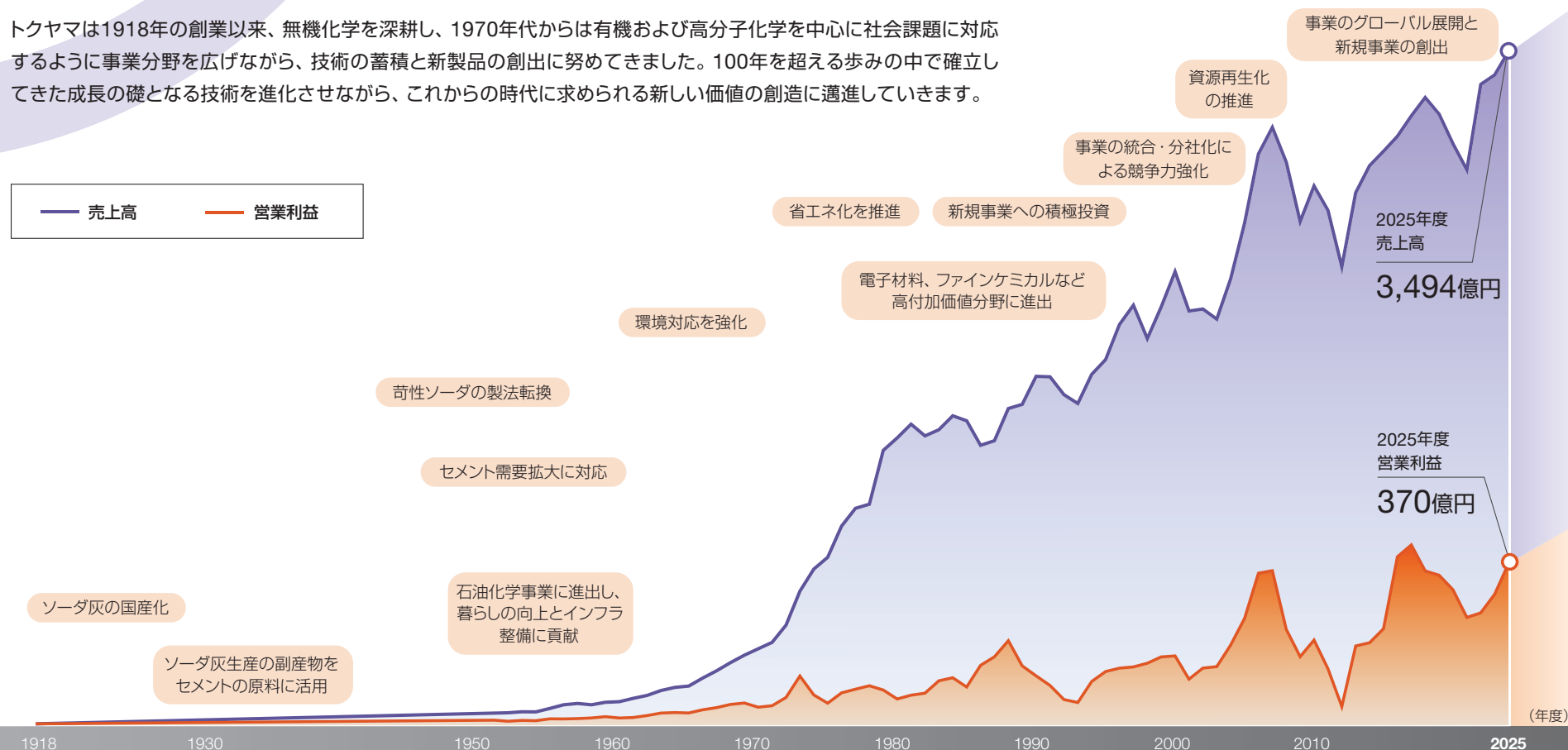
- ▶ **2025年** IVD/IVDM*事業会社を買収し、同事業の統括会社をトクヤマライフサイエンスに社名変更

*IVD/IVDM：体外診断用医薬品および体外診断用医薬品材料

価値創造の歩み

売上高・営業利益推移

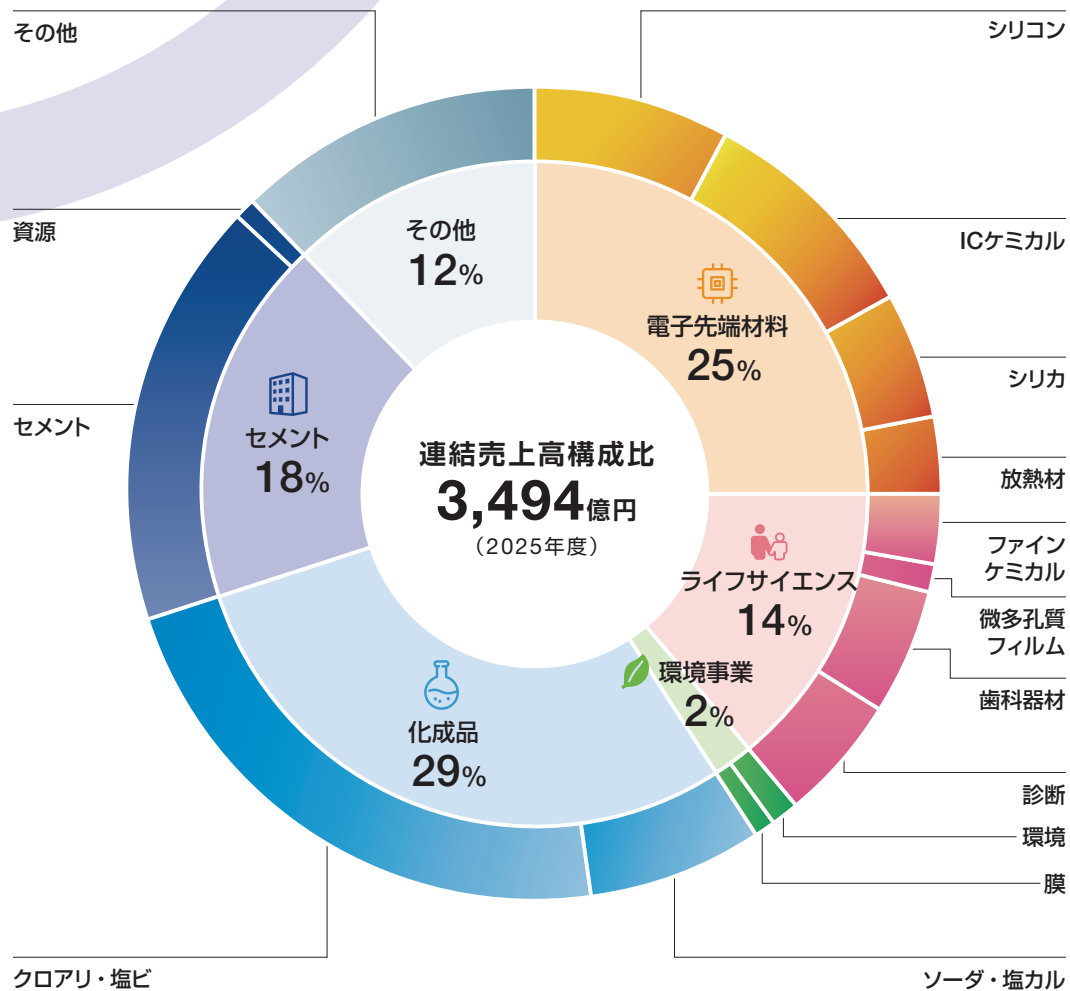
トクヤマは1918年の創業以来、無機化学を深耕し、1970年代からは有機および高分子化学を中心に社会課題に対応するように事業分野を広げながら、技術の蓄積と新製品の創出に努めてきました。100年を超える歩みの中で確立してきた成長の礎となる技術を進化させながら、これからの時代に求められる新しい価値の創造に邁進していきます。



時代背景・社会課題

- ▶ 第一次世界大戦 (1914～18年)
- ▶ 第二次世界大戦 (1939～45年)
- ▶ 戦後からの復興
- ▶ 世界恐慌 (1929～41年)
- ▶ 日本の高度経済成長 (1955～73年)
- ▶ 公害問題
- ▶ 石油危機 (1973・79年)
- ▶ 日本のバブル景気 (1986～91年)
- ▶ IT革命 (1995年～)
- ▶ 日本の少子高齢化
- ▶ リーマンショック (2008年)
- ▶ 京都議定書 (1997年)
- ▶ 国連SDGs採択 (2015年)
- ▶ 新型コロナウイルス感染症 (2020年～)

トクヤマの全体像



電子先端材料

半導体製造工程の中で使用される競争力のある製品



*持分法適用関連会社である韓徳化学株式会社を含む

ライフサイエンス

メガネレンズ用
フォトクロミック材料世界シェア
No.2 (20%)

環境事業

非キルン系資源
リサイクル世界初の
廃石膏ボード**100%**
完全リサイクル

化成品

ソーダ灰

国内唯一の
メーカー